

平塚柔道協会HP内のブログ充実しています!

☆ 平 柔 通 信 ☆

平塚柔道協会発行
責任者 会長 奥山晴治

全国制覇まであと一歩! 日整全国大会へ2名出場!



10月7日(日)、講道館で行われた日整全国大会に、当協会から選手2名(山口・石川)と監督として金井先生が神奈川県代表として出場しました。各県代表で構成されるチームが全国一を目指して熱い戦いを繰り広げましたが、神奈川県チームは、チームワーク良く、また2人の活躍により勝ち上がり、決勝に進出しました。

しかし、神奈川県チームとしては6年ぶりの決勝進出となった兵庫県との決勝は、残念ながら1対2で破れ、準優勝となりました。

決勝は残念でしたが、大健闘であると思います。出場選手にとっては、大きな、そして貴重な大舞台での経験になりました。

【決勝までの勝ち上がり】

(2回戦)〇5対0和歌山県、(3回戦)〇5対0青森県、

(準々決勝)〇2対2宮崎県、(準決勝)〇2対1秋田県

VIVA!JUDO杯, 接戦を勝ち上がり決勝進出! 準優勝!

10月22日(日)、東京武道館においてピバ柔道杯が開催されました。当協会からは2チームをエントリーしました。残念ながらBチームは初戦で惜しくも敗退となりましたが、Aチームは強豪チームがひしめく厳しいトーナメントを、**「取るところは確実に取る。そして守るところはしっかり守る。」**という団体戦の鉄則をしっかりと守り、無心塾(茨城県)、岡野道場(千葉県)、朝飛道場(神奈川県)、中山柔道会(千葉県)と、いった関東の強豪チームを次々と撃破、何と、決勝戦にコマを進めることが出来ました。

春日柔道クラブ(東京)との決勝戦は、先鋒から中堅まで引き分けと接戦でしたが、0対2で破れ、準優勝となりました。本大会で当協会が入賞するのは2度目となります。Aチームは賞状・メダルと共に、多くの賞品を手に入れました。子供達強くなっています。



2020東京五輪も応援します。リトアニア選手との交流!



10月8日(月・祝)、平塚市が2020年東京五輪のホストタウンとなるリトアニア共和国の選手との交流練習会が開催されました。サンドラさん・カロリスさんの両選手をお迎えし、技の紹介と練習を行いました。子供達にとっては、このような国際交流も貴重な経験となったことでしょう。さよならパーティにも参加させていただきました。

(11月の予定)

3日(土) 総合公園清掃・BBQ

4日(日) 秦野合同練習会

18日(日) 醍醐杯柔道大会(松本)

【その他試合結果・(10月14日(日))】

○望星旗

リーグ2位トーナメント 準優勝

○厚木選手権

優勝 (小3)原田(竜)・(小6女)本多(結)

3位 (小2)真田(結)



(雑感) ~実りの秋!~ 10月は毎週のように試合が続きました。そして、各大会において、平柔の子供達は大活躍をしてくれました。正に**「実りの秋」**、日頃の地道な精進が試合結果として実を結び始めたのではないのでしょうか。試合は子供達を成長させます。しかし、結果以上に重要なことは、勝ち負けの中で、技術面、精神面で多くの教訓を得ることだと思います。今後も、大きな学びを得てほしいと思います。

その「実りの秋」は、指導者にとっても同様でした。先日、指導者ライセンス更新のための講習会に参加してきましたが、そこでも多くの「気づき」が得られました。中でも、指導者の心得として、**「我々は学ぶことをやめたときに、教えることもやめなければならない。」**(元、サッカー、フランス代表監督ロジェ・ルメールの言葉)との言葉は、改めて、「指導者たるもの、指導方法等について、常に新しい知見を取り入れるなどの勉強を続ける必要があります、常に進化していかなければならないのだ。」ということに気付かせてくれました。今後も、日々、技術的に進化し続ける世界の「JUDO」についての研究を続けていきたいと思います。(五)

今月の目標・

立ち技から寝技技の移行、自分の得意な形をつくらう。